

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和 6 年 6 月 1 日

活動月	令和 7 年 8 月（着任 15 ヶ月）
主な活動	1. 川辺高校 1 日体験入学 2. 街づくりについて 3. 川辺未来会議

1 .川辺高校 1 日体験入学

8 月 26 日、川辺高校にて中学 3 年生を対象に 1 日体験入学が実施されました。

今回、大阪の説明会にご来場し、川辺高校の説明を聞いてくださった関西方面にお住まいの 1 家族が南九州市に来訪しました。

大阪の説明会終了後から保護者の方と連絡を取り合い、南九州市のどのような部分を見たいかなどのヒアリングを行って、地域の方々とオリジナルのスケジュールを作成しました。

当日は朝に正門で出迎えし受付までアテンドしました。

開会式から川辺校生たちが考えてくれた分かりやすい説明が始まり、スタンプラリー、体験授業の流れで進行していました。参加してくれた中学生はイベント中に在校生とも交流ができたようで楽しめたという感想をいただきました。

その後、タノカミステーションにて昼食をとり、地域住民の案内によって高校の近くにあるスーパーやドラッグストア、ホームセンター、病院などの位置を紹介しました。

学校に戻り、川辺高生 2 名に協力してもらって座談会を開きました。学校生活のリアルな状況や通学について、地域とのイベントでどのように関わっていけるか、休日の過ごし方など様々な質問に対して

地域おこし協力隊活動報告書

在校生が丁寧に答えてくれました。学校生活を想像できるような有意義な交流になったと思います。

交流会後は、寮の管理会社に協力してもらい、実際に住む女子寮の見学に赴きました。贅沢な寮のつくり感動していたようで、災害などの問題もクリアになっていることを伝えて学校生活だけでなく普段の生活が豊かになることを伝えることができたのかなと思います。

この度は、遠方から来ていただいたご家族の方々に感謝申し上げます。

そして、この体験入学にご協力いただいた地域住民の方々に重ねて御礼申し上げます。

このようにたくさんのサポートをしてくださることによって成り立っていることに日頃から感謝の気持ちで一杯です。

引き続きサポートを頑張りますので皆様、応援よろしくをお願いします。



2.街づくりについて

8月13日、川辺レンタルスペースにて街づくりの新しい試みについての第一回打ち合わせが行われ、参加してきました。ここではどのように街を盛り上げていけるか様々な案を出し合って、協力隊、地域住民、地域の会社とコラボレーションして街おこしをするという内容です。とても印象的だった案は地域にいる子供達と地域が協力して期間限定の小さな街を作るというものでした。街の中に小さな街を作るという試みは海外だとドイツで行われ、九州だと福岡でも実績があります。この街の中では実際に使える通貨をつくり、働いて稼いで、税金を納めるという一般社会の体験を行える仕組みとなっているようです。大人は原則的に口は出さず、本当に困った時に手助けをするルールで、子供達のコミュニケーション能力の育成に繋がる制度だと思っています。

学校という社会で生活する子供達に社会で生きている地域住民との交流をすることによって、幅広い思考の選択肢を持つことができる素晴らしい企画だと考えます。川辺は元々地域の方々が学校のイベントなどにマルシェ等で参加しているので協力体制という意味では積極的な地域だと思います。この積極性がもっと深くなれば大人同士のコミュニティも団結し、子供達の成長に尽力できるような環境が出来上がるのではないかと想像しています。

最初から大きな部分は無理でも小さなところから始めて、地域がどんどん活性化していけば理想的だと思いますので、協力隊と地域住民、地域の会社で協力しながら可能性を広げられるように活動をしていきます。

3. 川辺未来会議

8月19日に川辺地区公民館にて川辺未来会議が行われ、ゲストとして参加してきました。

ここでは以前、川辺地区には【こども会】が存在し、子供から青年までを支えていたものが現状ないため、他にどのように育成に対して支援ができるかを話し合う場となりました。

地域と子供達がイベントで関わりを持つことで、コミュニケーションが育つという観点では、現状のお祭りや地域の会社が開催するイベントに参加するという形で成立していると思うのですが、この幅を広げたいというのが今回のテーマでした。以前存在していたこども会で行われていた空き缶回収や地域住民訪問などができないなら、どのようにして代案を作るか考えましたが、育成という観点から考えると1度や2度のイベントでは思い出という形でいい経験になると思いますが、これが継続的になれば、問題が見えてきたり、話し合いをしてコミュニケーションが育っていくと思います。2項目目で前述した街づくりの企画が期間限定の街ではありますが、その点がとても強みになると思います。継続的なイベントとなると誰がどのように運用していくのかなど難しい点もありますが、できる部分を分担して協力していけば形になるのではないかと考えています。

地域の発展へと繋がる、若い人材の育成という重要なことに協力隊として、しっかりと尽力できるようにこれからも考えていきます。その部分を一緒に考えてくださる心強い住民の方々もいらっしゃるのでもこれからも交流を大事にしていきながら前進していきたいです。